

## ◆参加報告◆

## 研修会に参加して

増田志穂

今年度図書室担当となり、8月9日（木）に日本赤十字看護大学（広尾キャンパス）にて行われました第25回日赤図書室協議会研修会・総会に初参加させていただきました。当日は台風の影響が心配されましたが、遠方からの参加者も無事到着し、開催することができました。

毎年2日間の研修会を今年は1日での開催でしたので、研修内容は盛りだくさんでした。はじめは、コンソーシアム提案説明で、ウォルターズ・クルワーによる「LWW@Ovidの新提案」でした。毎年価格を設定する際の苦悩や、なぜ外国雑誌は毎年値上がりするのか、という謎もわかり、日本の出版社とは違う出版業界ビジネスの厳しさを痛感。ちょっとしたカルチャーショックを受けました。続いて、業務をスムーズに行うための工夫として、静岡赤十字病院のリンクリゾルバ「SFXの管理」の発表があり、機能の理解を深め、円滑にSFXの運用ができるよう各施設が所蔵している正しい資料情報を提供する大切さを学びました。

そして、長野赤十字病院の「患者図書室の

運営」の発表でスタートした午後の研修は、事例報告を中心としたものでした。患者図書室の設置は、全国的に増えましたが、娯楽中心のものから、医療情報を提供する施設まで形態はさまざまのようです。質疑応答では資料の揃え方や、患者さんへの情報提供など、業務の難しさを実感しました。

また、武蔵野赤十字病院と京都第一赤十字病院による「業者による講習会の経験」、伊達赤十字病院の「新入職員図書室研修」、伊勢赤十字病院の「図書室基準あれこれ」の発表がありました。当院も電子ジャーナルの見直しを図り、職員への医学情報を効率よく提供するために試行錯誤しているところでしたので、大変参考になりました。

来年3月には新病院開院となり、図書室も心機一転。これらの研修を活かし、臨床研修病院である当院で、医療関係者に対する専門的な医学情報を提供するための図書室の構築と、図書機能の整備・充実を目指し、日々邁進していきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

---

MASUDA Shiho

芳賀赤十字病院 総務課

TEL : 0285-82-2195 FAX : 0285-84-3332

tosyo@haga.jrc.or.jp